

# 土

申請。しかし11日は両施設が予約で埋まっていたことなどから、都は「一般来園者の安全が確保できない」として不許可とした。裁判所への申し立ても退

比谷公園は戦後民主主義の象徴。都のデモ制限は、それを否定することになる」と指摘している。【川崎桂吾】

## 司法「予備試験」219人合格

### 大幅増 法科大学院生も多数受験

法務省は8日、法科大学院修了者以外でも合格すれば司法試験の受験資格を得られる予備試験の合格者を発表

した。2回目の今回は合格者が219人(合格率3・0%)で、昨年の116人(同1・8%)から大幅に増えた。

予備試験は本来、経済的な事情で法科大学院に通えない人や社会人を対象に設けられた「例外ルート」だが、受験資格の制限はない。このため、今回も修了すれば司法試験を受けられる法科大学院生が合格し、合格者全体の約3割を占めた。

後藤守男所長は「そもそも全志願者のうち大學生が約22%、法科大学院生が約8%を占めている。また合格率も法科大学院生・約11%▽法科大学院修了生・約5%▽大學生・約4%▽大学卒業生・約2%の順に多い。予備試験の本来の趣旨と異なり、このままでいいのか、議論が必要だ」と指摘している。

訴訟によると、原告は09年7月末から3年の間に「うるささ指数(W値)」が75以上の区域に居住したことがある人たち。普天間飛行場に配備された米軍ヘリコプターなどの騒音で、生活や睡眠の妨害のほか、航空機の墜落の不安感による精神的苦痛を受けたとして

訴えている。住民ら3000人以上が騒音の差し止めも求めて係争中の「普天間騒音訴訟第2次訴訟」とは別の原告団。

【伊藤一郎】

【古賀亮至、写真も】

今年司法試験の合格者発表(9月)では昨年の予備試験合格者の合格率(68・2%)が法科大学院修了者の合格率(24・6%)を大きく上回ったため、予備試験合格者の数を増やすことで予備試験組の司法試験合格者を

「辰巳法律研究所」の大手司法試験予備校

米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)周辺

普天間騒音訴訟 口頭弁論始まる

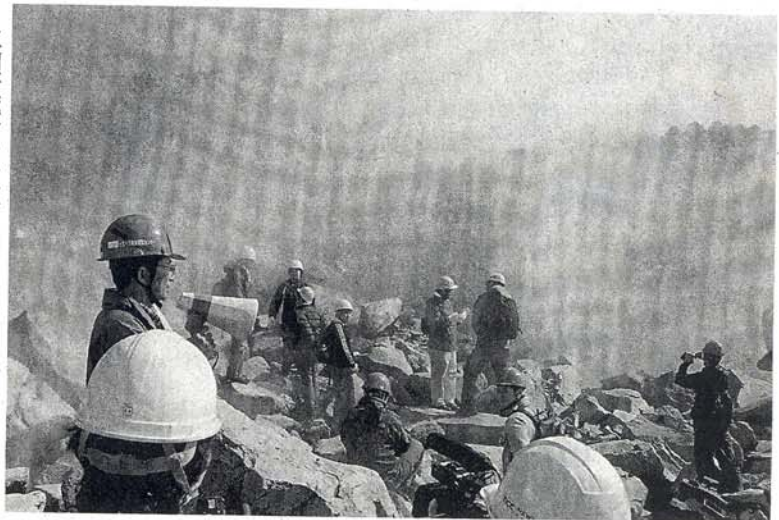
波辺会長報道巡り 読売新聞が抗議書

長が不正に運転免許を

更新していたなどと報

「爆弾日記」公開!

## 雲仙・平成新山 異常なし 防災登山



噴気を上げる平成新山山頂付近を調査する参加者 一長崎県島原市で8日午前11時49分

火山研究者や行政関係者 1483人)に登り、噴気 88人が8日、長崎県雲仙 や地形を調べた。噴火活動 ・普賢岳の噴火で誕生した がほぼ終息した95年から年 平成新山(元溶岩ドーム)、 2回、警戒区域の山頂まで

九州大地震火山観測研究 センター(同県島原市)の 松島健准教授(固体地球 物理学)は「新たなマグマ の供給はなく、噴火の恐れ は今のところない。(山頂 付近)崩落は進んでおり、 警戒区域内での落石の危険 性は高い」とした。

登る「防災登山」で、噴火 開始から17日で22年となる のを前に実施した。

山頂の噴気の温度は最高 87・1度で、初めて100 度を下回った昨年11月(89 ・1度)と同程度。95年には 塩化水素や二酸化硫黄が 噴気に多量に含まれていた が、ここ数年はほとんどが 水蒸気になっている。山頂 にとがって立つ溶岩岩尖 (スパイン)などはもろく なるなど地形は変化してい るという。